

◆発行◆

いわき市教育委員会事務局  
生涯学習課  
いわき市少年補導員  
連絡協議会



◆連絡先◆

平少年センター TEL 22-5431  
小名浜少年センター TEL 54-1890  
勿来少年センター TEL 63-3467  
常盤少年センター TEL 43-2305  
内郷少年センター TEL 26-2974  
四倉少年センター TEL 32-2920

## 第11回 いわき市青少年育成大会

9月2日に文化センター大ホールにおいて「～生かそう、きずな。未来のために!～」をテーマに、第11回いわき市青少年育成大会が開催され、少年補導員や学校教職員、青少年関係団体ほか各機関から約390名が参加しました。

オープニングセレモニーでは、「下神谷子どもじゃんがら」による躍動感あふれるじゃんがらが披露され、大会に華を添えました。

意見発表では、昨年度のいじめ根絶作文最優秀賞受賞作品の発表や、中高生の代表が地域や学校で感じたこと、体験したことをもとに日頃の思いを堂々と発表し、参加者は熱心に聞き入っていました。

記念講演は、お笑い芸人のスマイリーキクチさんが「インターネットと人とのかわり ～突然僕は殺人犯にされた～」と題し、

自身の経験をもとに、ネット社会で起きている犯罪の恐怖や、言葉の責任を参加者に伝えました。

【意見発表者】

- ・猪狩 明希さん(草野中)  
平成29年度いじめ根絶作文最優秀賞受賞者  
「原発避難いじめ事件から考える」
- ・我妻 聖希さん(赤井中)  
第49回いわき北地区中学生弁論大会 最優秀賞受賞者

「今、私が伝えたいこと」

- ・津田 捺帆さん(小名浜一中)  
第44回いわき南地区中学生弁論大会 最優秀賞受賞者  
「自己啓発による防犯」
- ・山野邊 公平さん(平工業高)  
「SNSと私たち  
～言葉の大切さ～」
- ・松本 玲奈さん(磐城第一高)  
「スマートフォン及びSNSの使い方」



「下神谷子どもじゃんがら」によるステージ

### 少年補導員として、大人として～今～

いわき市少年補導員連絡協議会  
会長 松崎 総一郎

初めに、私たち少年補導員は、学校の先生方や一般有志、合わせて約250名が市内7方部に分かれて活動をしています。

去る9月2日に第11回いわき市青少年育成大会が開催されましたが、オープニングセレモニーの下神谷子どもじゃんがらのライブ

に凶らずも感動したり、また、記念講演の講師スマイリーキクチ氏のお話の中で、彼自身が経験した誹謗や中傷が、いかに相手を傷つけ、はたまた恐怖に…が記憶に新しいところです。

さてここで、実は以前にも紹介させて頂きましたが、ある講演会での講師から頂いた「詩」を紹介させていただきます。「親の立場場所’子どもの前に立って導くのではなくて、子どもの後ろに立って見守り支える 子どもからは見えないところで でも 子どもが

振り返ればいつでも見えるところで」まさに親として、いや大人として、未来ある子どもたちにいかに関わっていくべきか、ということだと思います。メディア(ネット)社会と言われる今、子どもたちを取り巻く社会環境は大変難しいと認識しています。市・行政、例えば総合教育センター、青少年問題協議会、青少年育成市民会議等々、私たち自身、時代のニーズをとらえ自己研鑽に励み、様々な関係団体との協力を深め、活動していきたいと思っています。

### 『あたたかい 心とことばで ひろがるえがお』

平成29年度いじめ根絶10か条標語の部 最優秀賞 川嶋 暖大

## 二世世代の子どもたちとかかわりながら

## 常磐方部

補導員 大平 淑子



「子どもたちの現状は、どうなっているんだろう？」との単純な疑問から、私が補導員をお引き受けしたのは、娘が中学生の時でした。早いもので、この娘の子がこの春中学生になりました。今日まで補導を通して、様々な子どもたちを見てきましたが、社会環境の複雑化に伴い、子どもたちへの影響も多様化してきているように思います。

ただ言えることは、いつの世も大人が子どもたちに心を寄せながら、地域一体となって子育てをしていくことが大切なのだと思います。

写真は、夏の特別補導「金魚つかみ大会」です。地域住民や親子連れが楽しいひと時を過ごしました。

## 今、思う事

## 四倉・久之浜方部

補導員 瀬谷 友一郎

少子化のせいでしょうか。ここ数年、街頭補導に参加していても子どもたちの姿を見かける事がめっきり少なくなっています。

インターネットやスマホ等、デジタル機器の普及もあり、家にこもりゲームに夢中になっている子ども多いと思われま。

SNSはとても便利です。しかし一方では、いじめの温床になったり、事件や犯罪に巻き込まれるきっかけになっていることも事実です。SNS頼りによるコミュニケーション力の欠如や依存も心配されます。

## Report

賢く安全に使うための知識、ルール等、今一度ご家庭でも話し合ってみてはいかがでしょうか。

私たち補導員も、地域に根ざした「愛の一声運動」等を通し、子どもたちの非行防止、健全育成に努めていきたいと思ひます。

## 声かけが人の心を和ませる

## 平西方部

補導員 片寄 博正

今から11年前娘が高校生になった時、妻の知人に勧められ軽い気持ちで引き受けたのが縁で補導員を今まで続けてきました。ある時イトーヨーカドー平店に立ち寄った時、1人の男子高校生が少年アドバイザーに「おんちゃんまた来たのけ」と声をかけてきたので「早く帰れよ」と優しく返答しました。話を聞いてみると昼間に巡回した時からいたそうで家に帰れない事情があった様です。外見は不良っぽく見えた男の子でしたが優しい声かけで話が和み、帰りに男の子から「気を付けて行きなよ！」と声をかけられ、その日は気持ちよく補導を終えることができ、補導員になって声かけの大切さに気づかされた一時でした。地域にあっても挨拶から始まる声かけは、地域を明るくし非行防止に繋がるものだと思います。未来の宝子どもたちよ！地域の大人たちが見守っていますよ！

## スマートフォン 便利だけど……

## 勿来方部

補導員 渡辺 良一

遅ればせながら、私もやっとスマホデビューしました。使ってみてびっくりするのは機能の多さです。中でも最も驚いたのがLINEのビデオ通話です。孫と時々ビデオ通話をしますが、楽しいですね。ニュースや天気予報も見られます。

勿来方部では年2回研修会を開催しています。講師はほぼ毎回南署の少年警察補導員の方です。南署管内の少年補導の現状を勉強させて頂いていますが、よく聞くのがSNSを使った事件です。スマホのチャット機能を使い、出会い系サイト等に入ってしまい性的被害を受けた、友達とのチャットからイ

『かっこわるい いじめてるきみ みてるきみ』

平成29年度いじめ根絶10か条標語の部 優秀賞 湯田 凜奈

# 街頭補導活動レポート

ジメに発展してしまう。

今やスマホは高校生で必需品、中学生でも持っている子がいると聞きます。通信料も安くはないようです。世の中には便利なものがどんどん出てきます。使い方を間違えないようにしましょう。

## 子どもの見守り

平東方面部

補導員 小椋 慶子



私が補導員にさせて頂いてから、10数年がたちます。始めの頃は、学校が始まっているのに、町を歩いている学生がいました。「学校はまだ行かないの？」などと声を掛けると、「今から行きます。」などと話しをしてくれたのを思い出します。今は町の中を歩いても、子どもたちの姿は見えません。それはとても良いことです。しかし、携帯電話などの普及により、子どもたちが色々な事件に巻き込まれることも多くなっています。1人でもその様なことに巻き込まれないために、私たち大人も目を配っていきたく思います。まずは、ご近所の子どもたちを見守る事だと思えます。これからの子どもたちのために。

## 補導活動と好奇心！

内郷方面部

補導員 佐藤 静

日頃から様々な事に好奇心をかきたてられる私にとって、補導活動はまさに打って付けの学びの場に

なっています。地域の子どもたちと登下校時に挨拶を交わしたり、活動を共にする補導員の皆さんと育成大会や研修会に参加することで、貴重な自己研鑽の機会を得ています。子育てが一段落して、人間関係も断捨離傾向になると、どうしても好みや趣味といった限られたテリトリーの中でしか行動しなくなります。補導員になって10数年経ちますが、年齢や地域を越えての交流が私の財産になっていると言っても過言ではありません。

子どもたちを取り巻く社会は益々複雑になっています。私にとって学びの場である補導活動が、そんな社会の子どもたちを見守る、小さな目のひとつになっていければ幸いです。そしてこれからも近所のおばちゃん目線で、子どもたちに心を寄せていきたいと思えます。

## 小名浜方面部研修旅行に参加して 補導員同士の交流で愛ある補導へ

小名浜方面部

補導員 佐藤 正男

6月24日、毎年恒例になっている方面部の研修旅行に参加しました。本年は茨城県大子町の「奥久慈茶の里公園」で、蒸した茶葉を製茶するための手もみ体験、その後、袋田の滝を観光し、日本三名瀑に数えられる滝の荘厳さや清涼感を実感しました。研修旅行とは言え、その大きな目的は補導員相互が交流を深め、共通の体験を通して一体感を醸成することにあります。補導員の目的は「子どもたちを守ること」。そのためには補導員同士が心の交流を大切にし、決して威圧的ではなく包容力のある「声かけ」が重要と考えます。研修旅行の体験を補導の現場でも、より連携の取れた取り組みができるよう活かしていきたいと思えます。



『「いじめだめ」 勇気を出して 言えますか?』

平成29年度いじめ根絶10か条標語の部 優秀賞 渡邊 玄輝

# フレッシュな新任補導員から一言

お役に立てれば……。

平西方部 補導員 新妻 美香

前年度より少年補導員として活動させていただいておりますが、この活動があることを知りません

でした。委嘱状交付を受け研修会へ行ってみると市内7地区より少年補導員の方が参加されていま

した。毎月1回、少年アドバイザーの方と補導車両や徒歩補導にて「見

える補導、見せる補導」を実施することで犯罪や不審者等に対する抑止力にもつながり、子どもたちの非行被害防止となるよう少しでもお役に立てればと思います。

よろしくお願い致します。

## 「安心・安全な地域づくり」

少年アドバイザー 関内 健

本年4月にアドバイザーとして補導員の方々と各方を巡回しています。補導員の方々からは以前から比べ子どもの姿が少ないとの話題が多く出ています。特に今夏の猛暑の中、公園等で遊んでいる姿を見かけることは希でした。

しかし、6月に開業した商業施設は小中高生のみならず多くの方々が訪れ賑わっており、子どもたちや一般の方に声をかける機会があり、とても有意義でした。

市内では不審者は相変わらず出ており憂慮しています。活動の一

環として青ランプを点滅させ巡回する「見える補導・見せる補導」や「愛の一声」を継続しながら補導員の方々と連携し、今後も安心・安全な住みよい地域づくりに貢献していきたいと思っています。

## 街頭補導の状況

平成29年度は、1年を通して計692回の街頭補導活動を実施し、延べ2,029名の補導員が従事しました。

街頭補導活動では、子どもが決して1人ではなく、周りの大人が見守っていることが伝わるよう、「愛の一声」運動を積極的に実施しました。

また、1人での登下校や歩きスマホをしている子どもを狙った不審者情報が多く寄せられていることから、1人で歩いている子どもへの注意喚起を行うほ

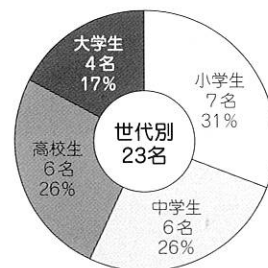
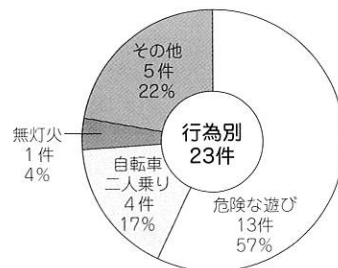
か、不審者目撃箇所周辺を「見える補導、見せる補導」により重点的に巡回しました。

街頭補導活動における補導件数の内訳は、下のグラフのとおりです。

平成29年度は23件で、平成28

年度の17件と比較して、増加しております。

特徴としては、喫煙や怠学は無くなり、自転車の二人乗りは減少しましたが、主にスケートボードによる「危険な遊び」が増加しております。



## 編集後記



広報部長 赤津 光

私が広報部員になりまして2年目ですが、1年目に自分自身で原稿を書いてみて、「かけはし」

の存在を再認識したしだいです。

それまで「かけはし」が届いても熟読することもなく、今してみれば、編集して下さった部員の皆様に誠に失礼なことをしていました。

今後は、広報部員として、この機関紙が、その名のとおり明るい未来への「かけはし」となることを願って編集し、皆様に届けていきたいと思っています。

## 『わかちあう 今生きている 楽しさを』

平成29年度いじめ根絶10か条標語の部 最優秀賞 上野 夏未